

「秋田市障害者プラン改訂版」(概要版)を、障害福祉課、保健所健康管理課でさしあげています。



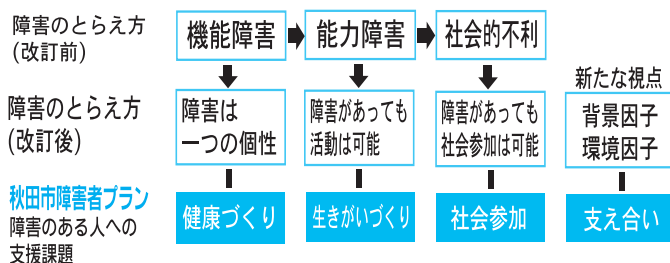
障害者プランを見直しました

昨年21年ぶりに改訂された、WHO(世界保健機構)国際障害分類をもとに、各種事業を見直した「秋田市障害者プラン改訂版」が完成しました。

改訂前の国際障害分類は下図のとおり、「機能障害」が「能力障害」を引き起こし、さらには「社会的不利」へ進むという、どちらかといえば、障害をマイナスのイメージとしてとらえていました。

改訂後は、障害をプラスあるいは中立的なものとしてとらえ、障害も一つの「個性」であり、障害があっても積極的に「活動」し、「社会参加」が可能であると考えています。さらに、これらを補う意味で、「環境」という視点が新たに加えられました。

国際障害分類から秋田市障害者プランへの流れ



四つの支援課題のおもな取り組みです。

- 健康づくり** 移動リハビリ教室の会場増設、精神障害者への支援体制の拡充など
- 生きがいづくり** 「障害者地域生活支援センター」の整備、障害者への理解促進イベントの開催など
- 社会参加** 「リフト付福祉バス」運行の検討、障害者スポーツ教室の開催など
- 支え合い** 福祉サービスの利用促進、地域における支え合い意識の醸成など

* 障害者プラン改訂版は、次号広報あきたで詳しくお知らせします。

問い合わせ 障害福祉課 ☎(866)2093 FAX(863)6362
健康管理課 ☎(883)1180 FAX(883)1171

NEW! 新年度事業スタート

(仮称)福祉複合施設11月オープン!

今年11月、泉地区に「(仮称)福祉複合施設」がオープンします。この建物の中には、保育所や知的障害者のための通所授産施設のほか、ひとり暮らしや夫婦のみの世帯で、高齢のため独立して生活することに不安のあるかたに生活の場を提供する生活支援ハウスが整備されます。

また、併設の地域交流スペースは、市民が気軽に立ち寄れる、語らいの場や福祉学習の場として活用できます。

予算 5億156万円



福祉複合施設の完成予想図

高齢者が安心して暮らせる環境を整えます

ひとり暮らし高齢者や高齢者だけの世帯などに、介護保険制度に該当しなくても、ホームヘルパーの派遣、デイサービス、配食サービスなどの在宅サービスを行います。

予算 5169万円

長寿を祝い、敬老意識の高揚をはかるため、傘寿、米寿、卒寿、白寿の節目の年に祝い品を贈ります。長寿年鑑も作成します。

予算 5922万円

新屋の軽費老人ホームだいせんの大規模修繕に助成します。

予算 3378万円



高齢者バス優遇資格証明書
バスの料金を
半額補助します

満七十歳以上のかたが利用できる「高齢者バス優遇資格証明書」の発行・更新は、高齢福祉課・土崎支所・新屋支所で行っています。

対象 満七十歳以上のかた

補助の内容 バスの回数券販売所で優遇資格証明書を提示すると、一冊千円分の回数券を半額の五百円で、月に五冊まで購入できます

証明書の発行に必要なもの

本人が窓口に来られるとき
・健康保険証など本人が確認できるもの
・印鑑

代理人が窓口に来られるとき
・対象者の保険証など対象者が確認できるもの
・委任状(同居世帯の場合不要)
・代理人の印鑑

取り扱い時間

高齢福祉課は午前八時三十分～午後七時、土崎・新屋支所は午後五時十五分まで

問い合わせ

高齢福祉課
☎(866)2095